



# 国際医療福祉大学病院

# 循環器センター 特別講演会

## 『狭心症を学ぼう ～胸が痛いことはありませんか～』

国際医療福祉大学病院(那須塩原市井口)は、県北地域の拠点病院として地域医療に貢献しています。日本人の死亡原因の第2位である心臓病の治療を県北地域で完結して受けられるようにと同病院に循環器センターが開設されて4周年を迎えたのを記念して、特別講演会『狭心症を学ぼう～胸が痛いことはありませんか～』(参加無料)を開催いたしました。  
(企画・制作 下野新聞社営業局)

主催者あいさつ



桃井 眞里子氏  
国際医療福祉大学病院 病院長

東京大学医学部卒、医学博士。元自治医科大学小児科学主任教授・医学部長、自治医科大学附属病院副院長・とちぎ子ども医療センター長。

### 特別講演 狭心症、切らずに治せる新時代へ

東北大学大学院 循環器内科学教授

下川 宏明氏  
ひろあき



九州大学医学部卒、医学博士。東北大学病院循環器内科長兼医学系研究科副研究科長、東北大学医師会長、東北大学病院臨床研究推進センター長、日本NO学会理事長、日本性差医学・医療学会理事長、日本循環器学会東北支部長。

本日は専門医である4人の講師がわかりやすく大切なことを説明していただきます。特別講演をしていただく田医師、当院循環器センターの柴センター長も下川教授の愛弟子であり、今年3月に仙台で第80回の日本循環器病学会を主催されたなど、循環器病学会の人的講師がわかりやすく大切なことを説明していただきます。特別講演をしていただく田医師、当院循環器センターの柴センター長も下川教授の愛弟子であり、今年3月に仙台で第80回の日本循環器病学会を主催されたなど、循環器病学会の人的講師がわかりやすく大切なことを説明していただきます。

狭心症には大きくわけて2種類あります。一つは冠動脈の動脈硬化によって血管が狭くなり、運動した時などに生じる労作性狭心症です。

もう一つは、冠動脈の収縮によって血流が減少することによって、夜間から朝方にかけて多く発症する「冠攣縮性狭心症」です。これは安静時に起るもので、冠動脈が収縮して血流が減少することによって、夜間から朝方にかけて多く発症する「冠攣縮性狭心症」です。

狭心症とは、心臓の血管が狭くなり、心臓に十分な血液が送られなくなる状態を指します。労作性狭心症は、運動やストレスによって発症し、胸痛や息切れを伴います。冠攣縮性狭心症は、安静時に発症し、胸痛や息切れを伴います。

狭心症の主な原因は、動脈硬化です。動脈硬化は、冠動脈が狭くなり、心臓に十分な血液が送られなくなる状態を指します。労作性狭心症は、運動やストレスによって発症し、胸痛や息切れを伴います。冠攣縮性狭心症は、安静時に発症し、胸痛や息切れを伴います。

#### 狭心症と心筋梗塞の違い

狭心症の主な原因は、動脈硬化です。動脈硬化は、冠動脈が狭くなり、心臓に十分な血液が送られなくなる状態を指します。労作性狭心症は、運動やストレスによって発症し、胸痛や息切れを伴います。冠攣縮性狭心症は、安静時に発症し、胸痛や息切れを伴います。

#### 基調講演① 当院における冠動脈疾患治療の現況

国際医療福祉大学病院 心臓カテーテル室長

武田 守彦氏  
もりひこ



東北大学卒、医学博士。前東北大学循環器内科助教。日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓血管インターベンション治療学会認定医。

狭心症や心筋梗塞の治療法の一つである冠動脈形成術(PCI)は、冠動脈の狭い部分をステントで開通させる治療法です。PCIは4種類ありますが、その中でも、冠動脈の狭い部分をステントで開通させる治療法は、厚労省が認めた施設でない限り、当院においてこの治療法を実施していません。

#### 基調講演② 微小血管狭心症とは何だろう

東北大学病院 循環器内科講師

高橋 潤氏  
じゅん



秋田大学卒、医学博士。日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓血管インターベンション治療学会認定指導医、日本内科学会認定指導医。

微小血管狭心症とは、心臓の微小血管が狭くなり、心臓に十分な血液が送られなくなる状態を指します。労作性狭心症は、運動やストレスによって発症し、胸痛や息切れを伴います。冠攣縮性狭心症は、安静時に発症し、胸痛や息切れを伴います。

シンポジウム



柴 信行氏  
国際医療福祉大学病院 副院長 循環器センター長

東北大学医学部卒、医学博士。前東北大学大学院循環器EBM開発学講座准教授。

#### 「胸が痛くなったら ぐっしたらいいの？」

柴 信行氏  
胸が痛くて仕方ない時にまずどうしたらいいのでしょうか。

武田 守彦氏  
基本的には冷や汗を伴うような胸痛があった場合は、我慢せずにすぐに国際医療福祉大学病院にご連絡ください。緊急性を要する場合は24時間治療ができる体制が整っております。

高橋 潤氏  
微小血管狭心症の特徴について、閉経後の高齢女性に多く起る病気で、CT検査で問題ないとされた方の中にもこの病気が潜んでいる可能性があります。

下川 宏明氏  
狭心症は、心臓の血流が足りない程度や、その範囲がどのくらいあるかによって、その後の経過が決まると言われています。ですから突然、胸部に締め付けられるような痛みを感じ、10分〜15分持続するような場合には、迷わずに国際医療福祉大学病院の循環器センターを受診してください。



写真左から下川宏明氏、高橋潤氏、武田守彦氏、柴信行氏